

(4) 「世界市民教育科目」

創立者のコロンビア大学ティーチャーズカレッジでの講演「『地球市民』教育への一考察」で提案された地球的課題である平和・環境・開発・人権をテーマとした「地球市民教育」のための科目等の「世界市民科目」から4単位の修得が必要です（国際教養学部は除く）。

(5) 「数理・データサイエンス・自然科学科目」

近年、社会にあふれる大量のデータを活用して、社会の諸問題の解決に貢献し、データから価値を創造する人材のニーズが急速に高まっています。初級レベルの数理・データサイエンス・AIのスキルを身に付けることを目指す「データサイエンス入門」は、全学生が修得する必要があります。

10. 卒業基準単位数について

各学部・学科が定める卒業基準単位数は以下の一覧表の通りです。詳細はP.61以降の各学部学科の説明を参照してください。また、P.20の「8. 進級と卒業条件について」の記載があるとおり、以下の一覧表の単位を修得したとしても、通算 GPA が2未満の場合は卒業できませんので注意してください。

■共通科目・学部学科英語科目の卒業基準単位数

学部	学科	共通科目及び外国語											計		
		①基礎科目		②大学科目	③言語科目		④世界市民教育科目	⑤数理・データサイエンス・自然科学科目	⑥人文・社会・健康科目					⑦キャリア教育系科目	⑧海外研修・実習科目
		初年次セミナー	学術文章作法		第1外国語	第2外国語			社会科学系科目	人文科学系科目	健康科学系科目	学際系科目			
※1	※2	※3	※4	※5											
経済	経済	2	2	4	6	4	4	2	2				2	—	28
法	法律	2	2	4	6	4	4	4	—	—	—	—	—	—	26
文	人間	2	2	4	6	4	4	2	2	—	—	—	—	—	26
経営	経営	2	2	4	10	—	4	2	2				2	—	28
教育	教育	2	2	4	6	4	4	4	—	2		—	—	—	—
	児童教育														
理工	情報システム工	2	2	4	6	4	4	2	2	2	—	—	—	—	28
	共生創造理工	2	2	4	6	4	4	2	2	2	—	—	2	—	30
看護	看護	—	2	2	6	—	2	2	2				—	—	16
国際教養	国際教養	2	—	4	16	4	—	2	—	—	—	—	—	—	28

- ※1 理工学部生は「初年次プロジェクト」を2単位修得すること。
- ※2 学術文章作法は、原則として「学術文章作法Ⅰ」で修得すること。
- ※3 第1外国語は、原則として英語を履修すること。学部学科英語科目のある経済学科、経営学科、情報システム工学科、共生創造理工学科、国際教養学科は、学部学科英語科目を優先して卒業に必要な単位数を修得すること。
- ※4 第2外国語は、1つの言語で4単位以上を修得すること（経営学部、看護学部を除く）。
- ※5 「データサイエンス入門」は全学部必修科目。

■専門科目・自由選択の卒業基準単位数

学部	学科	専門科目				自由 選択	計	共通科目 (上記)	総計
		必修科目	選択必修科目	選択科目	小計				
経済	経済	—	28 ※1	38	66 ※2	30	96	28	124
法	法律	—	18 ※3	50	68 ※4	30	98	26	124
文	人間	—	16	46	62 ※5	36	98	26	124
経営	経営	8	34 ※6	36	78	18	96	28	124
教育	教育	14	18	46	78	18	96	28	124
	児童教育	14	14	50 ※7	78	18	96	28	124
理工	情報システム工	14	8 ※8	48	70	26	96	28	124
	共生創造理工	27	8	36	71 ※9	23	94	30	124
看護	看護	103	—	—	103	6	109	16	125
国際教養	国際教養	34	44 ※10	—	78	18	96	28	124

- ※1 経済学科の専門選択必修科目は、以下の通りそれぞれの領域から指定された単位数を修得すること。
 ・ミクロ経済学：4単位 ・マクロ経済学：4単位 ・経済数学入門：4単位 ・経済と歴史：4単位
 ・統計：4単位 ・簿記：2単位 ・演習Ⅰ：2単位 ・演習Ⅱ：2単位 ・演習Ⅲ：2単位
- ※2 経済学科の専門科目には、選択したコースの科目（専門科目表に▲印が付されている科目）を18単位以上含めること。
- ※3 法律学科の専門選択必修科目は、以下の通りそれぞれの領域から指定された単位数を修得すること。
 ・演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲまたは Special Seminar for Global Issues Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ：6単位
 なお、演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに加えて、専門選択科目として Special Seminar for Global Issues Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修することができる。
 ・法学の基礎とSDGsまたは Introduction to Legal Studies：2単位
 ・学部基本科目（A群）：10単位 ※ただし、English Medium Program 生は、学部基本科目（B群）から10単位
- ※4 法律学科の専門科目には、選択したコースの科目（専門科目表に▲印が付されている科目）を16単位以上含めること。また、地球平和共生コースを選択した場合は、コースが指定する All English 科目（専門科目表に（AE）と書かれている科目）を7単位以上含めること。
- ※5 人間学科の専門科目は、イントロダクトリー科目、ベーシック科目、アドヴァンスト科目に分けられています。専門科目として修得する62単位は、以下の表の通り修得すること。

科目特性	イントロダクトリー		ベーシック		アドヴァンスト		計
	選択必修	選択	選択必修	選択	必修	選択	
卒業基準単位数	2	4	2	26	12	16	62

- ※6 経営学科の専門選択必修科目は、選択必修科目A群、B群に分けられており、以下の通り指定された単位数を修得すること。

科目特性	卒業基準単位数	備 考
選択必修A群	18	以下の通り各領域から指定された単位数を修得すること ・経営学から4単位 ・簿記原理から4単位 ・統計学から4単位 ・経済学から4単位 ・人間主義経営演習から2単位
選択必修B群	16	

- ※7 児童教育学科の専門選択科目は、教科A・C・E群から計12単位以上、B・D群から計6単位以上、計18単位以上を修得すること。なお、A～Eの各群では、2単位の修得が必須である。

- ※8 情報システム工学科の専門選択必修科目は、以下の通り指定された単位数を修得すること。

単位数	備 考
8単位以上	以下の通り各領域から指定された単位数を修得すること ・1年次春学期の微積分学から2単位 ・1年次春学期の線型代数学から2単位 ・1年次春学期の数学演習から2単位 ・実験科目から2単位

- ※9 共生創造理工学科の専門科目として修得する71単位は以下の表の通り修得すること。また、専門応用科目の「領域選択必修科目」は、選択した領域が指定する科目から8単位修得すること。「領域選択科目」は、選択した領域が指定する科目から14単位修得すること。

科目特性	専門導入科目	専門基礎科目			専門演習科目	専門応用科目			計
	必修科目	必修科目	選択必修科目 A	選択必修科目 B	必修科目	領域選択必修科目	領域選択科目	選択科目	
卒業基準単位数	4	13	4	4	10	8	14	14	71

- ※10 国際教養学科の専門選択必修科目は、Quantitative & Qualitative Analysis 科目群 (QQA 科目群)、Level 100-200 科目群、Level 200 科目群、Level 300-400 科目群の4つの科目群から、それぞれ以下の表の通り単位を修得すること。また、Level 100-200 科目群及び Level 300-400 科目群の中には、「歴史・社会・文化」「政治・国際関係」「経済・経営」の3つの分野があり、各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。

科目特性	QQA 科目群	Level 100-200 科目群	Level 200 科目群	Level 300-400 科目群	計
卒業基準単位数	4	16 (3分野から各4単位、計12単位を含めること)	4	20 (3分野から各4単位、計12単位を含めること)	44

11. 定期試験について

定期試験には学期途中に行われる中間試験とターム末に行われるターム末試験、学期末の学期末試験があります。科目によっては学期末試験期間前の最終授業日に試験を行う場合があります。また、授業中に小テストやレポート提出が課される場合もありますので、授業担当教員の指示に従ってください。なお、学期末試験期間に実施する試験の日程は、ポータルサイトを通じてお知らせします。また、定期試験を受験する際は必ず学生証を持参してください。

(1) 学期末試験

学期末試験とは、各セメスター末に一定の期間を設けて行う試験で、原則16週目に行います。学期末試験の日程等についてはポータルサイトを通じて発表します。

なお、学期末試験期間中はセメスター科目の授業は行いません。また、台風・積雪等の理由で試験を実施できなかった場合は、予め決められている予備日に実施します。

(2) 中間試験

中間試験とは、各セメスターの中間に一定の期間を設けて行う試験です。学期末試験とは異なり、すべての科目で実施されるものではなく、週2回授業の科目を中心に、原則として授業時間内に行われます。中間試験を実施する科目や日程は、ポータルサイトに掲示され、学期末試験に準じて行われます。なお、この中間試験は、後述する追試験の対象とはなりません。万が一中間試験を欠席した場合は、各授業担当教員の指示に従ってください。

(3) ターム末試験

各ターム末の定期試験は、原則8週目の授業時間内で実施(90分授業の内、45分を利用し実施)します。但し一部の科目は、別日程で行う場合があります。ターム末試験が台風・積雪等の理由で実施できなかった場合は、あらためて別日程で行います。主に授業内で試験を実施しますが、追試験の対象になります。

(4) 各定期試験の受験資格

中間試験、ターム末試験、及び学期末試験は履修登録した授業科目についてのみ受験することができます。